

公益財団法人日本スポーツ協会  
公認スポーツ指導者制度  
公認弓道コーチ1 専門科目免除  
事務手続きマニュアル

令和3年度版

令和3年6月  
公益財団法人全日本弓道連盟  
TEL：03-6447-2980

## はじめに

公益財団法人日本スポーツ協会が認定するスポーツ指導者資格は、令和2年10月現在、全国で184,744名が実登録されています。このうち弓道の資格登録者（コーチ1・コーチ2・コーチ3）は、6,553名にのぼります。これは弓道関係者各位のご尽力の賜物と考えられます。

国民体育大会弓道競技会では全種別において専任監督を配置することが義務付けられております。本マニュアルをご活用の上、弓道指導者の育成事業により一層のご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## 内容

1. 専門科目受講免除について
2. 共通科目Ⅰの受講について
3. 参考資料  
地連が行う修了証発行までの流れ

## 各種様式

### <エクセルファイルシート内容>

- 様式1 ~~【テキスト注文書】~~
- 様式2 ~~【テキスト料送金添書】~~
- 様式3 ~~【検定試験判定結果報告書】~~ / 記載例
- 様式4 【免除申請書】 / 入力例
- 様式5 【免除料送金添書】

### <ワードファイル>

- 様式6 【レポート用原稿用紙】

※今年度は様式1～3は使用しません。

## 1. 専門科目受講免除について

公益財団法人日本スポーツ協会と本連盟が認定する公認弓道コーチ1資格は、共通科目I（NHK学園の通信講座）の受講及び専門科目（40時間の実技）を修了することで認定されます。

本マニュアルでは、弓道指導者資格（コーチ1・コーチ2・コーチ3）の中のコーチ1資格に必要な専門科目（40時間の実技）免除について記載しております。

なお、令和3年6月現在、コーチ2資格及びコーチ3資格の免除は実施しておりません。

### （1）専門科目（40時間の実技）免除修了証の交付

専門科目（40時間の実技）免除修了証は、下記条件1～3のいずれかを満たす者で、令和3年度中に課題レポートを提出し、各地連経由で専門科目免除の申請を行うことで、令和4年4月に発行となります。

※従前は本連盟主催講習会またはその伝達講習会の受講が免除条件となっておりましたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会の開催が困難な状況もあり得ることから、その条件を本年度のみ特例として除外します。

条件1：錬士取得後4年以上の者（教士・範士取得者含）

条件2：五段取得後4年以上の者

条件3：学校教育法の定める教員（貳段以上）で、弓道部指導者として所属長の推薦がある者

### （2）課題試験（レポート）について

必ず様式6の【課題試験用原稿用紙】（400字詰原稿用紙）を活用の上、4枚以上お書きください。パソコンで作成頂きましても結構です。参考文献を使用した場合は、末尾に必ず明記してください。レポートは、地連から本連盟に申請を行う際に必要となります。レポートの提出日は各地連で設定をお願いいたします。今年度は全ての条件の方にレポートをご提出頂く必要があります。

#### 令和3年度課題

条件1対象：指導者として自身のあるべき姿勢や心構えについてどう考えているか述べてよ。

条件2対象：弓道が人々に持続的に愛好されるのはなぜか述べてよ。

条件3対象：弓道部員が弓道で如何なることを学ぶことに期待するか述べてよ。

## 2. 共通科目 I の受講について

専門科目免除者の共通科目 I のみの受講手続きについては、各地連から各都道府県スポーツ（体育）協会へ一括申請、又は個別申請など都道府県スポーツ（体育）協会によって異なります。地連ご担当者様におかれましては、各都道府県スポーツ（体育）協会へご確認をお願いいたします。

### <注意事項>

専門科目免除希望者が共通科目 I を受講するには、専門科目免除修了証の提示が必須となります。従って、専門科目免除修了証がお手元にない方（令和3年度中に課題レポートを提出される予定の方）は、令和3年度は共通科目の受講ができませんので、令和4年4月の専門科目免除修了証交付後、共通科目の受講をお申し込みください。

ただし令和3年度に課題レポートを提出される予定の方で、専門科目免除修了証の交付を待たずして、令和3年度中に共通科目の修了を希望する場合は、下記資格（コーチングアシスタント資格）の養成講座受講をお勧めいたします。本資格を取得することで、共通科目 I 修了と同等の資格を得ることができます。受講にあたっては、地連（支部）等を経由せず個人でお申し込みをお願いいたします。

### <コーチングアシスタント養成講座のご紹介>

カリキュラム：通信講座

申込方法：コーチングアシスタントの申込はインターネットサービス「指導者マイページ」から行っていただく必要があります。

詳細は下記日本スポーツ協会 HP または NHK 学園の HP をご確認ください。

JSP0 <https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid205.html>

NHK 学園 [https://www.n-gaku.jp/life/course/coaching\\_assistant](https://www.n-gaku.jp/life/course/coaching_assistant)

受講料・登録料：35,000 円（税込）

※令和元年度冬期をもって NHK 学園で開講していた「スポーツリーダー養成講座」は終了となりました。

令和2年度春期からは、同じく NHK 学園の通信講座「コーチングアシスタント養成講座」を開講しています。

※日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会共通科目 I の免除対象となる日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格を有する方（スポーツドクター・スポーツデンティストを除く）、日本スポーツ協会講習・試験免除適応コース共通科目修了証明書を有する方、日本スポーツ少年団認定員資格を2019年度時点で登録されていた方、健康運動指導士資格が認定されている方などは、別途申請手続きと資格登録手続きを完了いただくことで、「公認コーチングアシスタント」資格を登録することが可能ですので、本講座を受講する必要はありません。詳細は、日本スポーツ協会のホームページをご確認ください。

## 参考資料

(1) 専門科目受講免除対象の指定講習会及び研修会について

令和3年度、本連盟が定める指定講習会・研修会は、ありません。

(2) 日本スポーツ協会公認弓道指導者資格のシステム登録スケジュールについて

令和3年度中に課題レポートを提出し、都道府県弓道連盟経由で免除申請を行い、令和4年4月に専門科目免除修了証取得後、令和4年度に共通科目Iを受講される方の資格取得までのスケジュールは以下のとおりとなります。

- |   |       |                    |
|---|-------|--------------------|
| ① | ～4年2月 | 課題レポート提出           |
|   |       | ↓                  |
| ② | 4年4月  | 専門科目免除修了証取得        |
|   |       | ↓                  |
| ③ | 4年度   | 共通科目I受講            |
|   |       | ↓                  |
| ④ | 5年1月頃 | 共通科目I修了証取得         |
|   |       | ↓                  |
| ⑤ | 5年6月頃 | 登録申請～弓道コーチ1資格認定証取得 |
|   |       | ↓                  |
| ⑥ | 5年10月 | 日本スポーツ協会システムに登録    |

＜地連が行う修了証発行までの流れ＞

申請受付：令和4年2月1日（火）～28日（月）

※令和3年度提出の課題レポートのみ受付いたします

全弓連

- ① 免除申請者確認
- ② 送金添書確認
- ③ レポートの精査
- ④ 手数料送金確認

地連

- ①免除申請者一覧（様式4）送付送信
  - ②手数料添書（様式5）
  - ③レポート送付
  - ④手数料送金
  - ⑤関係書類4点送付
- ※①は電子メールもお願いします

免除希望者

- ①免除手数料送金（支払い）  
※手数料：15,100円
  - ②レポート送信（送付）  
※全ての条件の方が対象  
※様式6を活用下さい
- ※別紙「課題試験について」参照

- ① 修了証発行  
(令和4年4月上旬)

- ① 修了証を免除希望者へ配布  
※修了証の有効期限：4年間  
※共通科目Iは別途受講が必要

参考：修了証